



MAX CO., LTD. COMPANY PROFILE



世界中の暮らしや仕事をもっと楽に、楽しくする

創りたいのは、新しい当たり前。
使う人に寄り添いながら、
大胆に発想して、
今までにない便利さを世に送り出す。

私たちの製品を使っただくことで、
きっと、楽にできるはず。
もっと、楽しくできるはず。

そうやって、人々の心にゆとりをもたらしたい。
人々の可能性を最大化したい。
そのために、私たちは挑戦し続ける。



マックスは、「人」が尊重され、 「人」が成長することにより、 会社も成長すると考えます。

マックスでは、従業員一人ひとりが主役となり、自己の成長のために働くことを推奨しており、そのことを「経営基本姿勢」に掲げております。

人を育て、堅実に存在し続ける企業を実現して安定した雇用を確保することが、企業が果たすべき重要な社会貢献と考えています。

そのうえで更なる社会への奉仕と文化への貢献を目指し、従業員の働きを新しい価値の創造に向けて結集させ、お客様、社会に役立つものをカタチにし供給し続けることで、自らを、会社をより成長させていきます。

そして生み出した成果をステークホルダーに公正に配分し、社会の一員としての役割を果たしてまいります。



代表取締役社長
小川辰志

社是

- 一. 良い製品を責任をもって供給する
- 一. 全従業員の生活の向上と人材の養成に努める
- 一. 社会に奉仕し、文化に貢献する
堅実な前進を期する

経営基本姿勢

いきいきと楽しく力を合わせ、
皆揃って成長していく集団を目指す

1. ガラス張りの経営に徹する
2. 全員参画の経営に徹する
3. 成果配分の経営に徹する

マックス ブランドコンセプト

ビジョン
世界中の暮らしや仕事をもっと楽に、楽しくする

提供価値
新しい常識を創り、
ライフパフォーマンスを最大化する

マックスらしさ
Collaborative & Energetic Creative & Fun
寄り添いつながる 強い使命感
チャレンジングな創造性 楽しさ

コーポレートカラー

〈ブランドロゴの色〉
ヒューマンレッド

マックスの企業理念『人間尊重』の精神を視覚化し、「人間としての温かみと発展性」を表したのがコーポレートカラー〈ヒューマンレッド〉です。

ヒューマンレッドは、情熱とバイタリティあふれるマックス社員の心の色を表出させたものです。

CORE BEHAVIORS

行動指針

徹底した現場主義・顧客主義による 自在な創造活動で、お客様満足に応えます。

マックスは、「世界中の暮らしや仕事をもっと楽に、楽しくする」というコーポレートビジョンのもと、徹底した現場主義・顧客主義でお客様のニーズに応え、社会の変化を捉えるとともに、世の中にない製品を創出・普及させることで、新たな市場を生み出し、ナンバーワン・オンリーワンを確立しています。

我々の能力や技術を最大限発揮して、お客様や社会が求める良い製品を創り出し継続的に販売することが、世の中がどれほど変化しても変わらない我々の使命です。我々の創り出す製品がお客様の生活や仕事を便利で快適なものに変え、堅実に存在し続ける企業を実現することで社会に貢献したいと考えています。

徹底した現場主義が 『いきいき楽しく力を合わせる』出発点です。

マックスの仕事の進め方は、「やって、見て、考える」(Do, See, Think, Plan)です。失敗を恐れずに、まずやってみる。そこから出てきた現場・現物の「事実」をあるがままに客観的データとして掴み、それをチームのメンバーが理解・共有したうえで、チームの進むべき仕事の方向を明らかにして次の行動を起こすのです。そこでは現場主義を徹底した「事実」のみが、共通の価値となります。

『使う人が満足するモノづくり』 このこだわりが、マックスの歴史です。

マックスは1942年、当時、最高水準の金属加工技術が必要とされていた航空機部品のメーカーとして創業しました。戦後は、ここで培ったプレス技術や線材加工技術^{※1}を強みに、国産初となるホッチキスをはじめ、オートステープラ^{※2}、釘打機、鉄筋結束機、園芸用結束機などのオンリーワン・ナンバーワン製品を創出することで、オフィスや建築・建設現場、農業や食品分野の仕事の効率化に貢献してきました。さらに2000年以降は、高齢化が進展するなか、より快適な暮らしへのニーズの高まりを受け、浴室暖房・換気・乾燥機「DRYFAN(ドライファン)」をはじめとする住環境機器、車いすなどの介護機器へと事業を拡大しています。

※1 ホッチキス針や鉄筋結束機のワイヤなど、当社製品の消耗品の基盤となる技術です。 ※2 コピー機などに搭載される電子ホッチキス。

AF …… Agriculture & Food
HCR …… Home Care & Rehabilitation





ステーションナリーや事務機械などの展開で、 新しいオフィスワークをサポートします。

マックスは時代のニーズをいち早くとらえ、1952年国産初の小型ホッチキスを開発しました。以来、ホッチキスはオフィスワークに欠かせないアイテムとして発展し続けています。事務機械分野においても新たなニーズを捉え、表示作成機「ピーポップ」・チューブマーカー「レタツイン」・ラベルプリンタなどの製品を展開しています。

『とじる』のこだわりが、 ホッチキスを発展させ、品質を高めます。

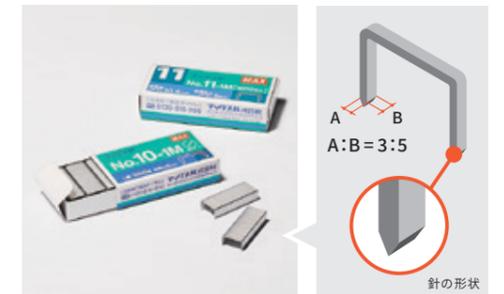
より軽い力で、より多くのとじ枚数を実現するには、ホッチキス本体の品質と針の精度管理が大切です。マックスはJIS規格に加え、ISO9001、ISO14001取得工場生産。長く、快適にお使いいただけるよう品質をさらに高めています。

『Vaimo (バイモ)』シリーズ
お客様の声とマックスの技術によって、40枚もの厚い書類を片手でとじられるホッチキス、Vaimo11 FLATが誕生(左写真)。さらに倍の80枚もとじられるVaimo80(右写真)を発売。日々、さらに使いやすいホッチキスの開発を続けています。



使いやすさの追求は、針にも。

マックスでは紙をとじるのに適した先端形状を維持するために、独自の設備で万全の品質管理のもとに針を製造しています。失敗とじの原因となる「芯ずれ」を防止しながら最適な角度で先端を尖らせることで、軽い力で紙の中をまっすぐ突き進めるようにしています。また、針はクリンチャの溝に沿って曲がりやすいように、断面は縦と横の寸法を3対5に決めています。これは、平たい方に曲がりやすい原理を使っています。



金属針を使えない職場に、マックスの新技术 紙の針でとじるホッチキス「P-KISS(ピーキス)」。

金属針を使わず、簡単な操作でしっかりとじたい。しかもかさばらず、とじ直しもできる。そんなニーズに応えるのが紙針ホッチキス「ピーキス」。マックスの技術が「とじる」の常識を変えました。



軽い力でサクリとじる機能と洗練されたデザイン
予備針ポケット付のホッチキス「サクリフラット」



ローラー式個人情報保護スタンプ「コロレッタ」



中空刃で、軽く穴あけるパンチ「スクーバ」

表示やラベルを自由に作成できる「ビーポップ」。

職場の安全表示、製品に貼る銘板ラベル・PLラベル、工事現場の看板、駅の案内表示などを自由に手軽に作成可能です。文字や写真を入れたオリジナルの表示を作成でき、様々な場所で活躍しています。

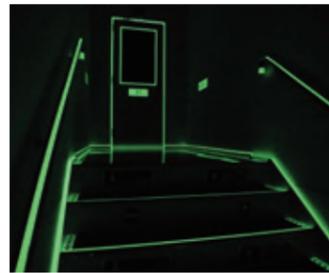


プロセスカラー印刷による写真入りの表示物作成も可能な「ビーポップ CPM-100H6」



「安全表示・人づくりコンテスト」の開催。

ビーポップで作成した安全表示のコンテストを2018年より開催しています。安全表示を職場の皆で考え、工夫して作成する「職場自主活動」を通じ、製造現場で働く皆様の安全意識の向上(人づくり)につなげることが目的です。考え、工夫した安全表示と取り組みが各社から集まり、安全活動の輪が広がっています。



住友化学株式会社
大阪工場の作品



ダイキン工業株式会社
滋賀製作所 滋賀製造部の作品

「ラベルプリンタ」が、消費者に信頼される表示ラベルの作成を手軽にします。

マックスのラベルプリンタとラベル編集ソフト「楽ラベ」によって、食品表示法に対応したラベルを、現場の作業形態に合わせて、誰でも簡単に、スピーディに、低コストで作成できるようになりました。お客様の用途に合わせた商品展開で、食品の安全管理をバックアップします。



2023年より食品表示ラベル作成担当者に向けて、ラベル運用をサポートする『楽ラベサポート』を開始しました。

チューブ・テープに高速印字 チューブマーカー「レタツイン」。

マックスの「レタツイン」シリーズは、1994年の発売以来、携帯型チューブマーカーのトップブランドとして好評を得ています。機械や設備をコントロールする「制御盤」や「配電盤」などの中にある電線を、端子台に正しく配線・メンテナンスできるように識別表示に使用されています。



電気配線用チューブに印字する「レタツイン」



**世界でもロングセラー
マックスは海外でも信頼のブランドです。**

それぞれの地域・文化・用途に合わせた活動を行い、オフィス機器はアジアを中心に販売しています。またビーポップは、欧州へも販売しています。

アジアへの展開

1964年にアジアに進出し、現在は、シンガポールを中心に、上海、香港など5拠点を設置しています。HD-10に代表されるハンディタイプのホッチキスは東南アジアでも主流で、マックスのHD-10のデザインは、品質を保証するシンボルとして、広く普及しています。



MAX ASIA PTE. LTD. (Electric Expo 2022にて)



HD-10



MAX(SHANGHAI) CO.,LTD.
(JAPAN STATIONERY BRAND FAIR 2024にて)

**表示作成機「ビーポップ」
欧州での展開**

2014年に「ビーポップ」欧州代理店の Lighthouse (UK) Holdco.Ltd.の全株式を取得、2019年にオランダに販売拠点として、Lighthouse Europe B.V.を設立し、ビーポップの事業拡大を積極的に行っています。



Lighthouse(UK)Ltd.

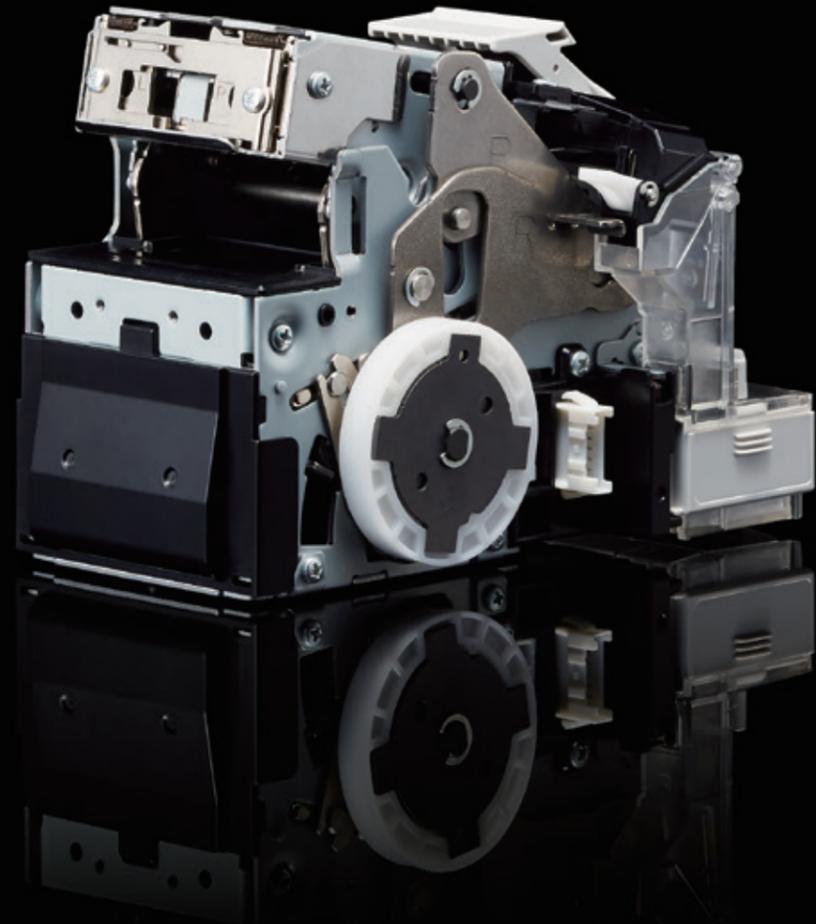
TOPICS 01

**国産初、そしてシェアNo.1※
商品の創出。**

国産第1号の10号タイプホッチキスを発売。以来70年以上の間に5億台を超えるホッチキスを生産・販売してきました。紙をとじる機能を追及し続け、フラットクリンチ ホッチキスも世界で初めて創りました。緑の小箱・マックス針とともに、ホッチキスはオフィスワークに欠かせない商品の一つとして、国内シェアNo.1のご愛顧をいただいています。

※ 国内ステーブラ市場シェア 株式会社矢野経済研究所調べ(2023年版 文具・事務用品マーケティング総覧)



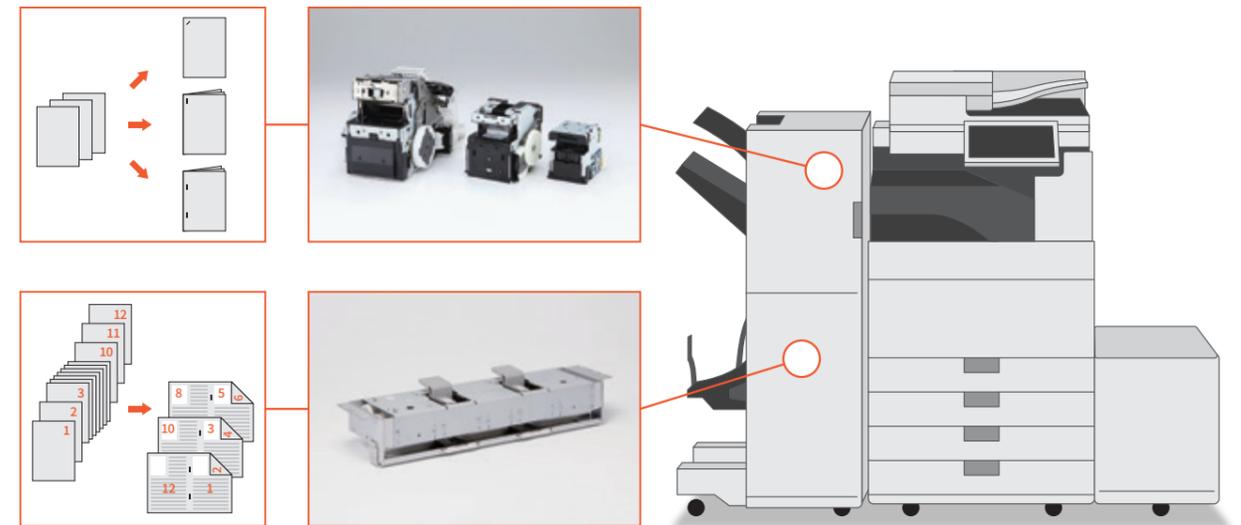


“とじる”というアートの追求と オートメーションによる価値創造。

マックスは、1985年に複合機内蔵用電動ホッチキス「オートステープラ」を発売しました。品質・精度の高さで、これまでに数々の複合機・プリンターメーカーに採用され、デジタルプリント環境におけるフィニッシングソリューションをサポートしています。

マックスは、技術革新で、 お客様のニーズに応えます。

「オートステープラ」はプリント後の自動ホッチキス機能として進化し、最上位機種をつづり能力は100枚に達しています。さらに追加機能として薄い枚数でもとじた後の針足長さを目立たせない針足カット機構を磨き上げました。



簡易製本市場向けの「中とし用オートステープラ」

TOPICS 02

高精度・高品質、 ハイコストパフォーマンス商品。

「オートステープラ」は、複合機に搭載されステープリングする、マックスの創造品です。連続、高速の使用に耐えられる高品質を実現。お客様の課題をいち早く解決して、今では世界中の複合機やプリンターに搭載され信頼を得ています。ニーズが多様化する中で、設置スペースを抑えるため複合機・プリンターの内部にステープラー機能などを入れたフィニッシャーも好評を得ています。新たなニーズにお応えするために、「オートステープラ」は進化し続けます。



オートステープラが
搭載されています。



「打つ」「締める」「縛る」のファスニング機器は、 専門分野の様々なシーンで活躍します。

マックスは、1958年に国産初の手動式ネイラ(ガンタッカ)を発売しました。
その後、空圧技術の確立により、1962年に国産初のエア式ネイラを発売以来、
国産釘打機のパイオニアとして、エアネイラやエアコンプレッサを発展させてきました。
また、1993年には世界初の充電式鉄筋結束機を発売。
お客様のニーズを形にし、お客様の作業効率の向上や身体的負担の軽減に貢献します。

国産釘打機のパイオニア。

釘打機の技術革新をリードするマックスが開発した高圧釘打機。木下地だけでなく、コンクリートや鋼板への打込みにも威力を発揮します。マックスは常に技術革新を続けています。



新時代の釘打機「エアロスターシリーズ」
釘打性能はもちろん、使いやすい
マガジン・フック・エアダスタを搭載。



業界初!!
スマートフォンによる遠隔操作を実現した
釘打機の動力源「エアコンプレッサ」。



工具用のステーブル・釘・ねじ。



「ステーブル / 釘 / ねじ」

リチウムイオン電池を搭載した充電工具。



低騒音とスムーズな締め込みを追求した「充電式静音インパクトドライバ」

「充電式フィニッシュネイラ」

コンクリート建造物の現場で活躍。

鉄筋結束機をはじめとする独自の省力化・効率化ツールを提案します。

マックスはコンクリート建造物の作業現場を調べ上げ、お客様の視点で、機能的に差別化された独自のツール・消耗品を新規開発し、提供し続けています。マックスのコンクリートツールは現場の職人の方々より高い評価を得ています。



現場での使いやすさを追求した「ツインタイヤ」シリーズを発売。

常に現場の声を聴き、改良を重ねています。

鉄筋結束作業は熟練技能者による手作業が中心でしたが、誰でも簡単に均一な作業ができる「充電式鉄筋結束機」を1993年に世界で初めて発売しました。

以来、現場でお客様の声を聞きながら改良を重ね、2017年に「ツインタイヤ」を発売。近年、建設業の人手不足や建設需要の高まりを背景に、今まで以上に効率化が求められる中で、さらなる使いやすさを追求しました。また、身体的負担軽減を目指し2020年には腰を曲げずに結束できる「ツインタイヤ ウォーカーモデル」を発売しました。



鉄筋結束機用ワイヤ「タイワイヤ」

ツインタイヤ ウォーカーモデル

NETIS 登録技術

国土交通省 活用促進技術選定
(新技術活用評価会議 中部地方整備局)

登録番号 KT-180090-VE

「ツインタイヤ」は優れた技術として「活用促進技術(新技術活用評価会議(中部地方整備局))」に選定され、国土交通省の新技術情報提供システム「NETIS」データベースに登録されています。

ハイパワーかつ軽量。

コードレス ガス内燃式ピン打機「ガスネイラ」。

マックスは、2004年国産第1号のガスネイラ(ガス内燃式ピン打機)を発売。コードレスなので取り回しに優れ、ハイパワーの打込み力を保持。内装・設備用途、住宅基礎、鉄筋用途等幅広く活躍しています。



コードレス ガス内燃式ピン打機「ガスネイラ」

マックスの製品は世界の現場でも活躍しています。

海外の機工事業は、欧米を中心に展開しています。

欧米の建築現場・プレキャストコンクリート工場などでは、

これまでの手作業に代わって鉄筋結束機「ツインタイヤ」の普及が加速しています。

北米への展開

1993年ニューヨークに販売会社MAX USA CORP.を設立。現在はテキサス、カリフォルニアにも拠点を設置し、サービス体制の更なる充実を図るなど、ユーザーの満足度向上につながる取組みを進めています。海外でも人手不足などの影響から機械化のニーズが高まっており、鉄筋結束機を始めとしたマックス製品は高い支持を受けています。



MAX USA CORP.

欧州への展開

2006年オランダに販売会社MAX EUROPE B.V.を設立。鉄筋結束機を中心とした機工事業の成長に伴い、2022年2月にMAX EUROPE B.V.のドイツ支店を新設し、自社の修理体制を整えるなど、欧州事業の拡大に向けて、販売体制の強化とユーザーの利便性向上に取り組んでいます。



MAX EUROPE B.V.

新製品の探索や市場テストは、海外でも行います。

海外の現場に行き、お客様の声を直に聴き製品に反映することが、モノづくりには欠かせません。お客様の声を聴くこと、事実を確認することから、お互いの信頼が始まります。



TOPICS 03

お客様のニーズに技術革新で 応えるユニークな製品。

釘打機は、プロのニーズに応える速射性、耐久性、さらには小型軽量化や現場作業にマッチした形状が求められます。国産釘打機のパイオニアメーカーとして、マックスは世界に先駆けて高圧(23気圧で使用)釘打機を開発しました。常圧(10気圧以下)の釘打機ではできなかった小型軽量化と高性能を両立させ、お客様の高い支持を獲得しています。





Agriculture(農業) Food(食品)分野でも、 マックスのユニークな結束機器が活躍します。

AF分野への進出は、1969年農業・園芸用に発売された誘引結束機「テープナー」から始まります。そのユニークな発想は、包装作業の「効率化」と「疲労の軽減」をサポートする袋口結束機「コニクリッパ」・「パックナー」、テープで束ねる野菜結束機「おびまる」などへと受け継がれ、専用の消耗品とともにそれぞれの商品が進化をしながらロングセラーとなっています。中でも「テープナー」は国内にとどまらず、ヨーロッパ・アメリカ・アジアなど世界中で使われています。

「楽しくテープナー」は、飛躍的な進化を遂げました。

「もっと軽く、もっと楽に誘引できたら」。こんな声にお応えて、本体質量・とじ荷重を飛躍的に軽くした「楽しくテープナー HT-Rシリーズ」は、世界中の農家で愛用されています。さらに、環境やSDGsへの意識の高まりに応え、「テープナー」の専用消耗品として、土中で約3ヵ月で分解する環境に配慮した『紙テープ』を発売。当社では、今後も環境配慮素材の採用に積極的に取り組み、SDGsの達成に貢献します。



青果・食品用袋口結束機「コニクリッパ」で 作業者の疲労を大幅軽減。



包装作業の効率化を実現する青果・食品用袋口結束機「コニクリッパ」と簡単開封が可能な専用結束具「コニクリップ」2022年には、環境に配慮したバイオマス素材を配合した『バイオマス コニクリップ』を発売。

充電式剪定はさみ「ザクリオ」。



果樹の剪定作業を楽にします



新築でも、リフォームでも、 快適な住環境づくりを提案します。

ヒートショック対策に効果的な浴室暖房・換気・乾燥機、建築基準法により原則として設置が義務付けられている24時間換気システム、そして壁掛型暖房機をはじめとし、PTC面状発熱タイプの床暖房システムや洗えるディスポーザシステム、住宅用火災警報器など、より良い住環境をサポートする商品をラインアップ。シックハウス症候群や年齢を増すごとに増加するヒートショック事故のリスク低減に、役立っています。

ご愛用実績 810万台※1 突破の高信頼性。

電気式浴室暖房乾燥機市場

売上数量国内シェアNo.1※2 ブランド「ドライファン」。

1985年に浴室暖房・換気・乾燥機「ドライファン」を発売して以来、多くの人のバスライフを健康で快適にする商品を提供してきました。これからもパイオニアとして、時代の変化を捉え、お客様の声を大切にしながら、バスルームに新しい提案を行い続けます。



リフォームでの「お取り替え」需要に応える商品をラインアップ。

多くのお客様にご利用いただいているメーカーとして、「お取り替え」需要に応える商品もラインアップしさらに快適な住環境をご提供していきます。



浴室暖房・換気・乾燥機
お取り替え専用機



全熱交換型換気システム
お取り替え専用機



住宅用火災警報器
交換タイプ



家庭用生ゴミ処理機
ディスポーザ

**お取り替え工事にも対応できる
アフター体制を整えています。**

修理はもちろん、お取り替え工事や換気扇から浴室暖房・換気・乾燥機への交換工事も行っています。試験をクリアした一定基準以上の技術を持つ作業員がご訪問。安心のメーカー施工でお客様より評価いただいています。マックスは販売のみではなく、製品寿命のその後も考えたアフターの仕組み・体制づくりを目指しています。



※1 当社調べ(2024年3月現在)

※2 住宅設備・建材市場トレンドデータ便覧 2024 電気式浴室暖房乾燥機市場 メーカーシェア(2024年度見込) 株式会社富士経済調べ 2024年6月現在



「快適な暮らしと健康のために」 安全・安心な商品と良質なサービスを 提供してまいります。

マックスは、2010年に車いすメーカーのカワムラサイクルの株式を取得し子会社としました。福祉用具は日用品として「使い勝手」が大切であり、マーケットニーズを的確に製品企画に反映させる必要があります。カワムラサイクルではスピーディなサンプル生産とモニタリングを繰り返し、より良い製品を生み出す開発体制を整えています。このような開発体制の下、安全性を確保しながらも、新しい技術を採用して付加価値の高い製品開発を目指しています。

環境にやさしい車いす

環境方針として、汚染の防止に努め、マネジメントプログラムの継続的改善を図り、安全で快適な福祉用具の普及により社会的使命をはたします。また、環境改善3Rを推進しています。

- 環境に配慮した車いすの開発
- 不要になった紙資源を再資源化
- 点検整備による再利用のサポート



品質管理

社内試験

JIS規格 (JIS T9201:2016) に基づいた社内試験設備や第三者試験機関にて「走行耐久性試験」や「車いす落下試験」などを日常的に実施し、安全性・耐久性の維持向上を図っております。JIS規格にない形式の車いすについても社内基準を設け安全性試験を行い、その結果に基づき、仕様の見直しや新製品の開発を行っています。

キャスタ耐荷重試験

車いす使用中、過度な負荷がキャスタに集中しても壊れないかを確認するため、キャスタ単体に一定の荷重をかけ、各部に亀裂や凹みが出ていないか、回転が円滑であるか等を確認する試験。



静的安定性試験

使用者が搭乗している状態で傾斜地において車いすが不安定な状態にならないかを確認する試験。上り坂、下り坂、側方の傾きを想定し、傾斜角度を変えられる装置で評価します。



走行耐久性試験

石畳のような凹凸路面を走行してもフレームや各部品に脱落や、破損がないことを確認する試験。車いすに関する試験の中では最も過酷で重要な試験でもあります。



製品紹介

曲線美が印象的なフレームデザイン。
“座り心地にもデザインにもこだわりたい”方におすすめの車いすです。

〈主な仕様〉

- リバーシブルシート ●伸縮式駐車用ブレーキ ●肘部跳ね上げ式 ●座面高さ調節 ●ノーパンク車輪
- 脚部スイングイン・アウト式 ●工具レスでフットサポート高さ可変(パチート調節機能)

カワムラサイクル
ホームページ



www.kawamura-cycle.co.jp

独創技術で次世代をリードする 新製品を創り続けます。

徹底した現場主義のもと、ニーズとシーズを融合させた企画・コンセプト立案からスタートする新製品開発プロセスと、それを支える開発環境により「オンリーワン製品」を生み出します。そして、セールスポイントを実現する技術と知的財産権により「ナンバーワン製品」の地位を維持します。

企画・コンセプト立案

お客様の声から
新しい価値を創造

製品設計力

メカ・ハード・ソフト設計の融合 / 解析主導設計

開発支援

最新機器に支えられた試作・計測・評価システム

企画・コンセプト

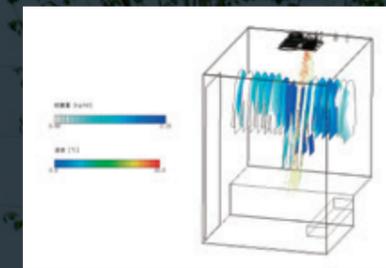
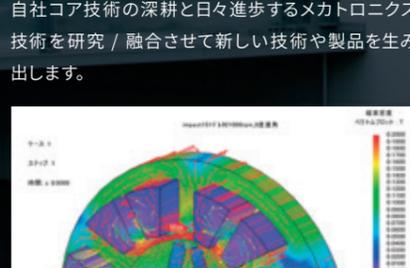
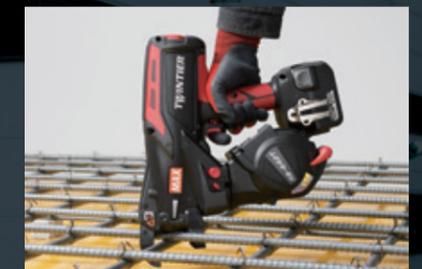
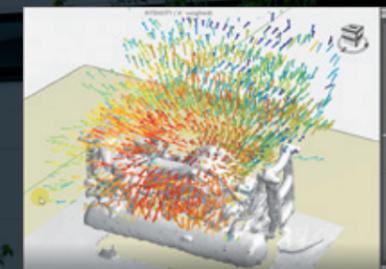
製品設計

試作

検証

製品化

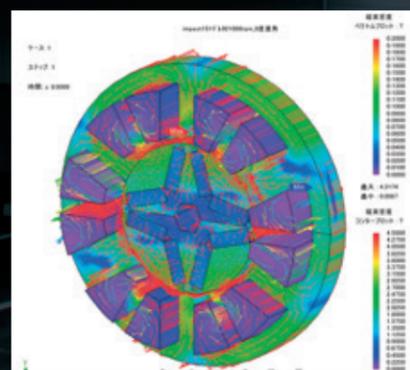
知的財産戦略 コア技術とニーズの融合により生み出すユニークな製品を知的財産権で保護するニッチトップ戦略



世界の現場に企画者とメカ・ハード・ソフト設計者が足を運び、お客様の声や現場環境からニーズの本質を掴みます。技術者ならではのシーズ視点で発想を膨らませ、新しい価値を創造します。

製品開発はチームで推進します。メカ・ハード・ソフト設計者が多角的に課題解決に向かい製品力を高めます。

自社コア技術の深耕と日々進歩するメカトロニクス技術を研究 / 融合させて新しい技術や製品を生み出します。



自由度の高い開発上流段階から先端解析技術を活用した最適化設計を行います。ソフト開発は、機械制御を基点に、IoT、クラウド、Web/ モバイルアプリなど、必要な先端IT技術により、新たな顧客価値を創造します。



金属3Dプリンタや3Dスキャナ等、最先端の試作/計測機器を導入。技術研究・新製品開発をサポートします。

温度・湿度環境試験に加え、粉塵や降雨等過酷な現場環境を想定した評価システムを構築。また定量評価の難しい音源や画質、乾燥性能の分析・評価にも、解析技術を活用して数値化や可視化する高度な性能評価により品質を支えます。



世界中で販売され、さまざまな現場で活躍します。

世界有数の設備と生産システムから、 グローバルな競争に打ち勝つ信頼の製品が生み出されます。

自社開発設備を中心に構成され、省人化・無人化で高い生産性とクリーンな作業環境を保つ消耗品生産ライン。最新鋭の加工機を駆使し、効率的な稼働で生産される主要精密部品。グローバルな競争に打ち勝つ信頼の製品は、このような設備・生産システムから生み出されます。そして、お客様に満足していただける製品を、責任をもって供給するために、市場に学ぶ“三現主義（現場・現物・現実）”の実践を通じた全員参画のチーム活動を軸として、市場の多岐にわたるニーズへのフレキシブルな対応と品質管理体制の構築を進めています。

玉村工場



需要の変化にタイムリーに対応する “フレキシブル生産工場”です。

玉村工場は、機工品の主力工場として、釘打機の加工から組立までの一連の工程を集約した工場です。多様な市場ニーズに対応して変種変量生産を追求、約200品種におよぶ釘打機、ガスネイラ、鉄筋結束機などを生産しています。SCM推進に向けて、独自エンジニアリングによるNC自動化設備と、セル生産方式による高品質・高効率でフレキシブルな生産を進めています。

また、コンプレッサや各種充電工具をはじめ、ピーポップ、ラベルプリンタなどの事務機械、オートステープラも生産するメカトロニクス工場で、マックスの主力工場です。



藤岡工場



世界屈指の“消耗品専用工場”です。

藤岡工場は、設備・生産量ともに世界屈指の規模の“消耗品専用工場”です。事務機器、機工品等の各種ステーブルや鉄筋結束機用ワイヤ（タイワイヤ）の生産をはじめ、オートステープラ用高精度針などの新消耗品開発にも積極的に取り組み、製造の技術革新と新消耗品の製品開発を推進します。また、素材から完成までの一貫製造システムを自社開発設備で構成。多線連続プロセス制御で、高品質無人化工場として、装置型工場の新しいFA化を目指しています。

倉賀野工場



倉賀野工場では、小型ホッチキスとエアコンプレッサのタンクを生産しています。自社開発の製造設備により、プレス加工から組立までの一貫工程を自動化、インライン自動検査などオートメーション化されたラインにより、高品質・高効率の量産体制を構築しています。

吉井工場



住環境機器の生産・物流機能を統合し、 生産体制を確立しました。

吉井工場は、市場シェア約50%の電気式浴室暖房乾燥機をはじめ、熱交換型24時間換気システムやディスポーザなどを生産しています。“住環境機器専用の邸別詰合わせ梱包ライン”を設置し、“ピッキング・小口梱包作業”を効率化。物流作業トータル生産性向上も実現します。

TOPICS 04

ツールと消耗品のベストリンク。

マックス製品の使いやすさは、ツールとその消耗品の適合性の高さにあります。消耗品の性質を知ってツールを設計。ツールのスペックに合わせて消耗品を開発。ツールと消耗品は、お客様満足を支える両輪です。ユーザーの使用環境や用途から、ツールと消耗品のニーズを捉えることは、現場を知り、お客様を知ろうとするマックスの創造活動の基本です。



お客様のニーズにいち早く応える 営業体制とサプライチェーン。

マックスグループは、当社、子会社および関連会社25社で構成され、お客様によりよい商品とサービスの提供を目指しています。国内・北米・欧州・アジアに販売拠点を設置し、国内外での販売やアフターサービス体制を充実させています。国内工場をはじめ、タイ、中国、マレーシアなどの海外工場での生産や、物流・サービス拠点の充実により、品質とスピードでお客様満足にえています。



MAX (THAILAND) CO., LTD.



MAX USA CORP.



美克司電子機械(深圳)有限公司



美克司電子機械(蘇州)有限公司



マックス株式会社



MAX FASTENERS(M) SDN. BHD.



Lighthouse(UK)Ltd.



MAX EUROPE B.V.

本社

M マックス株式会社

所在地：東京都中央区日本橋箱崎町 6-6

物流・サービス拠点

マックス販売株式会社

所在地：埼玉県さいたま市北区日進町 3-421
事業内容：オフィス機器、建築・建設工具の販売

マックスエンジニアリングサービス株式会社

所在地：群馬県高崎市上大類 412
事業内容：当社商品のアフターサービス業務

マックス物流倉庫株式会社

所在地：群馬県高崎市吉井町岩井 866-1
事業内容：当社商品の保管・輸送などの物流業務

製造拠点

玉村工場

所在地：群馬県佐波郡玉村町川井 1848
操業：図形機器工場 1988年10月 / ネイラ工場 1991年10月
生産品：釘打機、エアコンプレッサ、鉄筋結束機、オートステープラ、電子事務機等

藤岡工場 JIS認定工場

所在地：群馬県藤岡市森 33-1
操業：1963年8月
生産品：ホッチキス針、オートステープラ用ステーブル、タイワイヤ等

吉井工場

所在地：群馬県高崎市吉井町岩井 800-2
操業：2007年5月
生産品：浴室暖房・換気・乾燥機、熱交換型24時間換気システム・住宅用ディスプレイ等

倉賀野工場

所在地：群馬県高崎市倉賀野町 2644
操業：1960年1月
生産品：ホッチキス、エアコンプレッサのタンク等

マックス常磐株式会社 JIS認定工場

所在地：茨城県北茨城市関本町富士ヶ丘 425
操業：1970年10月
生産品：各種コイルネール、タイワイヤ

マックス高崎株式会社

所在地：群馬県高崎市吉井町岩井 800-2(本社)
群馬県高崎市倉賀野町 2644(倉賀野工場)
事業内容：ホッチキス、浴室暖房・換気・乾燥機等の生産業務

販売拠点

1 MAX USA CORP.

所在地：205 Express Street, Plainview, New York 11803, U.S.A.

2 MAX USA CORP. TEXAS OFFICE

所在地：405 Powerhouse Street, Suite 502, McKinney, Texas 75071, U.S.A.

3 MAX USA CORP. CALIFORNIA OFFICE

所在地：3002 Dow Avenue, Suite 222, Tustin, California 92780, U.S.A.

4 MAX EUROPE B.V.

所在地：Antennestraat 45, 1322AH Almere, The Netherlands

5 MAX EUROPE B.V. GERMAN OFFICE

所在地：Bonner Str. 203d, 40589 Düsseldorf, Germany

6 Lighthouse(UK)Ltd.

所在地：Unit 23, Charnwood Business Park North Road Loughborough Leicestershire, England

7 Lighthouse Europe B.V.

所在地：Centurionbaan 42 D, 3769 AV Soesterberg, The Netherlands

8 MAX ASIA PTE. LTD.

所在地：101 Cecil Street #16-01 Tong Eng Building, Singapore 069533

9 MAX ASIA PTE. LTD. MUMBAI OFFICE

所在地：Oberoi Splendor, A-1004, J.V.L.R., Opp. Majas Bus Depot, Andheri(East) Mumbai-400 060, India

10 MAX ASIA PTE. LTD. HO CHI MINH OFFICE

所在地：P.721.4,7 th floor, Me Linh Point Tower, No.02 Ngo Duc Ke Street, District 1, HCMC Vietnam

11 MAX CO.,(H.K.)LTD.

所在地：7-B, Chuan-Kei-Fty Bldg., 15-23, Kin Hong St., Kwai Chung, New Territories, Hong Kong

12 MAX (SHANGHAI) CO., LTD.

所在地：ROOM403, No.1, Lane 280, Hongjing Road, Minhang District SHANGHAI, P.R. China

12 MAX FASTENERS(M) SDN. BHD.

所在地：Lot 55, Kulim Industrial Estate, 09000 Kulim, Kedah, Malaysia
操業：1990年10月
生産品：ホッチキス、ホッチキス針等

14 美克司電子機械(深圳)有限公司

所在地：中華人民共和国広東省深圳市龍華区 觀瀾街道桂香社区桂月路佳怡工業園 12号
操業：2003年12月
生産品：オートステープラ、電子事務機

15 美克司電子機械(蘇州)有限公司

所在地：中華人民共和国江蘇省蘇州市蘇州高新区建林路666号 出口加工区配套工業園 17号工場
操業：2010年10月
生産品：浴室暖房・換気・乾燥機

13 MAX (THAILAND) CO., LTD.

所在地：WHA Eastern Seaboard Industrial Estate 1 911/3 Moo 5, Khaokansong Sub-District, Sriracha District, Chonburi 20110, Thailand
操業：ホッチキス・ネイラ工場 2005年8月 / タイワイヤ工場 2018年6月・増築 2023年3月
生産品：ホッチキス、各種ネール(釘打機)、テープナー、オートステープラ、タイワイヤ、コニクリップ

現場主義が社会課題の解決へ。

マックスの徹底した現場主義に基づくモノづくりの姿勢は、数多くのニッチ市場でオンリーワン・ナンバーワン製品を生み出し、健康で安全・安心な暮らしや仕事環境の実現に貢献しています。

社会課題の解決に向けた製品開発

身体的負担の軽減・人手不足への対応 鉄筋結束機「ツインタイヤ ウォーカーモデル」

1993年、マックスが世界初の充電式鉄筋結束機を発売する以前、建設現場における鉄筋結束作業はハッカーという工具を使って、手作業で行われていました。数回のモデルチェンジを経て、2017年、2本のワイヤで結束を行うツインタイヤ機構を開発し、結束力の強化に成功するとともに、結束時間を0.7秒に短縮化することで、市場における圧倒的ナンバーワンの地位を確立しています。さらに2020年には、立ち姿勢のまま歩きながら結束作業が行える「ツインタイヤ ウォーカーモデル」を発売。鉄筋結束作業は炎天下で行われることも多く、鉄筋工の高齢化や人手不足が進行するなか、「ツインタイヤ」は、身体的負担の軽減と作業時間の短縮化を同時に実現する画期的な製品です。



明るくいいきとした職場風土づくり

マックスは労働災害の低減に向けて、表示作成機「ビーポップ」で作成した表示物の工夫を競う「安全表示・人づくりコンテスト」を毎年主催しています。皆で危険箇所を確認して、皆で表示を考えることで、職場の危険や問題を全員参加で解決することを目指しています。コンテストの根幹にあるのは「自発的な」改善活動で、これは、マックスの経営基本姿勢でもある「いきいきと楽しく力を合わせ、皆揃って成長していく集団を目指す」という理念にも通じています。マックスは、「明るくいいきとした職場風土づくり」を通じて、労働災害の低減に貢献していきます。



工具のサブスクリプション・レンタルサービス 「レンツール」開始

「レンツール」はユーザーが状況に応じてサブスクリプションまたはレンタルのどちらかを選び、工具を使用することができるサービスです。工具の初期導入費用を抑えることで若年層の入職のハードルを下げ、大工人口の減少という社会課題の解決に貢献します。また、様々な工具を試す機会を提供することで、若年層大工のスキルアップをサポートし、定着の支援につなげていきます。本サービスは2021年に当社で行った社内ビジネスコンテスト「第1回新規事業創出プロ」にて生まれたサービスです。「若手大工の離職率が高い」「新たな大工のなり手が不足している」という課題を解決し、「住宅市場が活気づき、いい街づくりが加速する社会の実現」を目指すべく事業化しました。



快適な住環境づくりとヒートショック事故のリスク低減 浴室暖房・換気・乾燥機「ドライファン」

1985年の発売以来、810万台以上(累計出荷台数)^{※1}ご利用いただいています。アパート用、マンション用、戸建用など、それぞれに合わせた製品を取りそろえるとともに、プラズマクラスター技術搭載機などもラインアップすることで、浴室暖房・換気・乾燥機の国内シェアNo.1^{※2}ブランドとしての地位を確立しています。高齢化に伴って増加するヒートショック事故のリスク低減に貢献しています。

※1 当社調べ(2024年3月現在)
 ※2 住宅設備・建材市場トレンドデータ便覧 2024 電気式浴室暖房乾燥機市場 メーカーシェア(2024年度見込) 株式会社富士経済調べ 2024年6月現在
 ※ プラズマクラスターロゴ(図形)およびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の登録商標です。



環境負荷低減・地域社会貢献の取り組み

マックスの国内製造拠点にて、省エネルギー、省資源・リサイクル、再資源化率に関する年度ごとの目標を設定し、取り組みを推進しています。また、脱プラスチックなど環境に配慮した文具シリーズ「Re:max(リマックス)」を展開し、環境・地域産業への貢献を目指します。

省エネルギー

2022年度目標値(エネルギー使用量原単位を前年度比99.0%以下に抑制)に対して、99.5%となりました。



太陽光発電の設置による環境負荷低減

2021年に新設した吉井物流倉庫に太陽光発電設備を設置し、年間110トンのCO₂排出量削減を実現しました。2023年3月より稼働したタイ第3工場においても太陽光発電設備を導入するなど、グループ全体で再生可能エネルギーの利用拡大を進めています。



サステナブル文具シリーズ「Re:max(リマックス)」

マックスのコーポレートビジョン「世界中の暮らしや仕事をもっと楽に、楽しくする」を実現するため、「とじる つながる つなげる未来」をコンセプトとしたシリーズです。これまで包装材を環境に配慮した紙箱にリニューアルした「HD-10TL 紙箱タイプ」、本体カバーにプラスチック端材とバイオマスプラスチックを使用した「HD-10D サステナブルモデル」を発売、2024年6月にはカバンや家具制作の過程で出る端材をアップサイクルし、職人の熟練の技術で「革」と「木」の本体カバーを制作した「革のホッチキス」「木のホッチキス」を発売しました。

パッケージを全て紙素材にする、長く使用できる製品設計にすることで廃棄を減らす、などにより、環境への貢献を目指します。



『使う人が満足するモノづくり』 このこだわりが、マックスの歴史です。

<p>1942年 高崎市東町に山田航空工業(株)として、航空機のウイング部品メーカーとして発足</p>	<p>1952年 国産第一号の10号タイプホッチキス「SYC・10」発売</p> 	<p>1954年 ベーシックホッチキス「MAX・10」発売</p> 	<p>1968年 スタンダードホッチキス「HD-10D」発売</p> 	<p>1979年 軽とじホッチキス「ホッチー」発売</p> 	<p>1985年 〈電子タイムレコーダ〉発売</p> 	<p>1985年 複合機内蔵用〈オートステーブラ〉発売</p> 	<p>1987年 とじ裏が平らになるフラットクリンチホッチキス発売</p> 	<p>1990年 表示作成機〈ビーポップ〉発売</p> 	<p>1994年 チューブマーカークレタツイン発売</p> 	<p>2002年 50周年記念モデルホッチキス「HD-10DFL」発売</p> 	<p>2006年 食品ラベル用〈感熱ラベルプリンタ〉発売</p> 	<p>2008年 2枚〜40枚が軽くとじられる新規格針採用の新世代ホッチキス〈Vaimo11シリーズ〉発売</p> 	<p>2010年 車いすメーカーである(株)カワムラサイクルの株式を取得し、連結子会社化</p> 	<p>2013年 紙針ホッチキス〈ビーキス〉発売</p> 
--	---	--	---	--	---	--	--	--	--	--	---	--	---	---

HCR
機器部門

オフィス
機器部門

1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020

<p>1958年 国産第一号の〈ガンタッカ〉発売</p> 	<p>1962年 国産第一号の〈エアネイラ〉「T2-A」発売</p> 	<p>1971年 袋口結束機〈パックナー〉発売</p> 	<p>1973年 丸釘用〈コイルネイラ〉「CN-60」発売</p> 	<p>1976年 ネイラ専用〈エアコンプレッサ〉発売</p> 	<p>1993年 鉄筋結束機〈リバータイア〉発売</p> 	<p>1994年 高圧釘打機システム〈スーパーネイラ / スーパーエア・コンプレッサ〉発売</p> 	<p>2000年 浴室暖房・換気・乾燥機メーカーシンワハイテックグループ2社を買収し住環境機器事業に進出</p> 	<p>2004年 国産第一号の〈ガスネイラ〉発売</p> 	<p>2004年 プロ用コンクリートツール〈ハンマドリル〉発売</p> 	<p>2010年 充電式剪定はさみ〈ザクリオ〉発売</p> 	<p>2020年 鉄筋結束機〈ツインタイアウォーカーモデル〉発売</p> 
<p>1969年 誘引結束機〈テープナー〉発売</p> 	<p>1996年 石膏ボード用ねじ打機〈ターボドライバ〉発売</p> 	<p>1998年 青果・食品用袋口結束機〈コニクリッパ〉発売</p> 	<p>2000年 浴室暖房・換気・乾燥機メーカーシンワハイテックグループ2社を買収し住環境機器事業に進出</p> 	<p>2004年 国産第一号の〈ガスネイラ〉発売</p> 	<p>2004年 プロ用コンクリートツール〈ハンマドリル〉発売</p> 	<p>2010年 充電式剪定はさみ〈ザクリオ〉発売</p> 	<p>2017年 鉄筋結束機〈ツインタイア〉発売</p> 	<p>2020年 鉄筋結束機〈ツインタイアウォーカーモデル〉発売</p> 	<p>2023年 充電式袋とじ機〈モバイルパックナー〉発売</p> 		

インダストリアル
機器部門

マックスは時代のニーズをいち早く捉え、国産初の小型ホッチキス・手動式ネイラ(ガンタッカ)・製図機械を'42年から'50年代の創業期に、世に送り出しました。これらの製品がお客様の信頼を得て、事業基盤を確立しました。'60年代から'70年代は、空圧技術の確立によりネイラ(釘打機)はエア式に発展、家具・梱包・建築へと市場を拡大してきました。ネイラの消耗品もステープルから釘へ、被打込材も木から鋼板・コンクリートまで広がり、釘を使う全ての市場にネイラは浸透し、名実ともに日本の釘打機のトップメーカーになりました。

'80年代から'90年代に入ると、エレクトロニクス技術が導入され、チェックライタ・タイムレコーダ・ホッチキスなどの事務機の電子化で、新市場を創造しました。さらに、蓄積された技術を融合し、高圧釘打機(スーパーネイラ)・鉄筋結束機・複合機内蔵用電子ステーブラ(オートステーブラ)・表示作成機(ビーポップ)など、次代に向けた新コンセプト製品も生み出しています。21世紀を迎えて、新たにコンクリートツール事業・住環境機器事業に参入。これからもマックスは、『使う人が満足するモノづくり』にこだわり続けます。

マックス 「心のホッチキス・ストーリー」



About

マックス

「心のホッチキス・ストーリー」とは

マックス株式会社は、
“あなたが今、心にホッチキスしたいこと”をテーマに
「今の幸せ」「家族の絆」「友だちとの思い出」など
いつまでも心にとどめておきたい
思いや出来事を毎年募集しています。



History

マックス

「心のホッチキス・ストーリー」のあゆみ

2010年よりスタートしたこの企画。
全国からたくさんのご応募をいただき、
累計応募総数は13万人を突破しました。
これからもみなさまのご参加を
お待ちしております！



Award Result

結果発表

第14回 マックス・心のホッチキス大賞 [蛭原 暖 さん (宮崎県 / 13歳)]

「今年はこちらにしようか」
母の日が近付くと、ぼくは弟と一緒に折り紙の本に夢中になる。なぜなら、折り紙で作った花を母にプレゼントしたいから。

このプレゼントは、幼稚園生の頃から続けている。はじめはチューリップからのスタートだった。それから、さくら、カーネーション、ひまわり、あさがおなど毎年かぶらない花をぼくと弟で1輪ずつ作っている。また、その折り紙の花には、毎年、母への感謝の気持ちを書くことにしている。

母の日、母は「しあわせ花瓶」と題した花瓶にぼくたちが作った花をうれしそうに飾る。10回目の今年、いよいよ「しあわせ花瓶」はぼくと弟の花でいっぱいになっていた。玄関

に飾っているため、学校から帰ってきて真っ先に目に入る。ぼくもとても幸せな気持ちになる。

今年中学生になったぼくは、アヤメの花を折ることにした。毎日、朝夕駅まで送迎してくれること、毎日お弁当を作ってくれることなど、母への感謝の気持ちを手紙に表すことができた。直接伝えるのは何だか照れくさく言えずにいたことを、折り紙を通して伝えることができてとてもすっきりした。

お母さん、いつもありがとう。

これからもよろしくお願いします。

来年は、どんな花にしようかな。ぼくの楽しみの1つである。



詳しくは「心のホッチキス」で検索

心のホッチキス



illustration © Jin KITAMURA

マックス コーポレートサイト
<https://www.max-ltd.co.jp/>



MAX

ENGINEERED FOR
PERFORMANCE

マックス株式会社 〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6 Tel: 03-3669-0311 <https://www.max-ltd.co.jp/>



顧客情報資産の保護と社内情報資産の保全を企業経営上の重要な基本方針とし、営業本部・本社部門・修理部門・生産技術部門・調達部門・物流倉庫・デジタルイノベーション統括部において、情報セキュリティマネジメントシステム (ISO/IEC27001) の認証を取得しております。



重点商品群の継続的生産と供給を目的に、玉村工場・藤岡工場・吉井工場・倉賀野工場、および当該工場に関わる生産間接部門、情報システム部門において、事業継続マネジメントシステム (ISO22301) の認証を取得しております。



釘打機・ホッチキス・電動ホッチキス・文字表示機器および住環境機器、ならびにその消耗品の設計・開発および製造において、品質マネジメントシステム (ISO9001) の認証を取得しております。



玉村工場・藤岡工場・吉井工場・高崎事業所・倉賀野工場において、環境マネジメントシステム (ISO14001) の認証を取得しております。

この印刷物は、環境への配慮のため、FSC®認証材および管理原材料、VOC (揮発性有機化合物) を含まないUVインキを使用しています。



VOC
FREE